
インベスコ、2025年後期のグローバル市場見通し 「ザ・グローバル・リセット」を発表

2025年6月10日、日本インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は2025年後期のグローバル市場見通し「ザ・グローバル・リセット」を発表しました。



2025 年後期のグローバル市場見通し「ザ・グローバル・リセット」では、世界の政治・経済情勢は急速に変化しており、貿易関係や政治的同盟関係が世界中で大きく再編されつつあると述べています。

2025 年前半には世界中の市場で不確実性を示す指標が急上昇しました。インベスコでは、依然として、関税率がどこに落ち着くか、金利変更の正確なタイミング、具体的なインフレ率や成長率の見通しなど、正確な予測をしようとすることに對して慎重に構えながら、いくつかの重要なトレンド、マクロ要因そして市場が向かう方向性について、より確信が持てるようになってきたと考えています。具体的には、関税率は過去数十年よりも高くなり、米国への移民は減少すると予想され、その結果、年初時点の予想に比べて 2025 年の米国の成長率は鈍化し、インフレ率は上昇する可能性が高いと想定します。一方、関税問題が予想より良い形で解決されたり、期待される規制緩和がプラスの影響をもたらした場合、米国市場は引き続き上昇する可能性があると考えています。

こうした前提の下、レポートでは今後の見通しとして 3 つのシナリオをご紹介します。基本シナリオとしては、「米国以外の資産の魅力が高まっている」として、米国の国内政策のボラティリティと不確実性が 2025 年の残りの期間も続く可能性が高く、米国の関税は数十年來の高水準にあるものの、「解放の日」に当初発表された水準を大きく下回り、米中貿易関係は徐々に改善していくとみています。こうした複合的な影響により、米国経済については、緩やかに減速す

る可能性が高いものの、減税の延長と規制緩和が追い風になる可能性があると考えています。また、欧州と中国へのデイスインフレ圧力は、政府と中央銀行が国内経済への刺激策を取ることを可能にするものと見ています。日本については、日本銀行の追加利上げは、2025 年末または 2026 年初頭まで延期される可能性があるものの、時間の経過とともに追加引き締めが実施されると予想しており、引き続き円相場を支える要因となるとみています。

不確実性が継続し、さらなるサプライズの可能性もあることから、本レポートでは地域および資産クラス全体にわたる幅広い分散投資を推奨しています。株式については、米国内での低ボラティリティ、クオリティ、高配当を愛好する一方で、大型株へのエクスポージャーは抑制します。米国以外の株式は、欧州およびアジア株式を筆頭に、年内を通してアウトパフォームすると予想しています。債券については、米国を除くグローバル債券と現地通貨建ての新興国債券を愛好します。ほとんどのクレジットセクターを小幅アンダーウェイトとし、ポートフォリオのリスクテイクには慎重なアプローチを推奨します。下振れリスクの高まり、株式の割高なバリュエーション、そして資本市場の良好な動きを踏まえ、オルタナティブ資産のリスクについては中立を維持します。この分野では一般的にディフェンシブな戦略を採用し、プライベート・エクイティよりもプライベート・クレジットとヘッジ戦略を愛好します。通貨については、米国資産からの広範な資金配分の転換が米ドル安を引き起こし、ユーロやポンドといった主要先進国通貨を愛好する方向に導く可能性があるかとみています。

レポートの中には、基本シナリオ以外にも下方シナリオ、上方シナリオも解説しています。是非、ご一読頂ければ幸いです。

詳細は下記から御確認いただけます。

<https://www.invesco.com/jp/ja/insights/investment-outlook/2025-Midyear-Investment-Outlook.html>

2025 年後期のグローバル市場見通し「ザ・グローバル・リセット」へのリンク：

https://www.invesco.com/content/dam/invesco/jp/ja/pdf/insights/investment-outlook/2025-mid-year/2025-Midyear-Investment-Outlook_JP.pdf

以上

インベスコについて

インベスコ・リミテッド（以下、「インベスコ」）は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家などの顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界 20 カ国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています（証券コード：IVZ）。インベスコに関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)（英語）で入手することができます。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社について

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社インベスコの日本拠点です。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に関する詳しい情報は、[ウェブサイト](#)で入手することができます。

その他の留意事項

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が海外の拠点で作成した資料の翻訳版を作成したことをお伝えすることのみを目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。

投資信託は、主として国内外の株式や公社債などの値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより投資一単位当たりの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧いただき内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 306 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
〒106-6114
東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー 14 階
Telephone 03-6447-3000

IM2025-106